



CONTENTS

Top Opinion

1

評価の姿勢 ～土木学会日本インフラの体力診断「新幹線WG」を例に
富山大学教授（未来構想PF理事） 金山 洋一

VOICE

3

「社内コミュニケーションの場」としての部活動の紹介
JR東日本コンサルタンツ(株) 江岡 年和

たすきリレー

4

人とのご縁と繋がり、そして「じゃこたんぼ」
鉄建建設(株) サステナビリティ推進室兼鉄道統括室 白石 浩三

今月の国際比較データ

5

PF書店／私のインフラ巡礼／編集後記

6

Top Opinion

評価の姿勢 ～土木学会日本インフラの体力診断
「新幹線WG」を例に

富山大学教授（未来構想PF理事） 金山 洋一

日本の新幹線整備について、土木学会新幹線WGの主査として内外比較等を通じて評価を行い、6月にプレス発表を行った。この取り組みを題材に評価に係る姿勢を紹介したい。

1点目は「定義」付けである。内外で高速鉄道の定義が異なっているには比較にはならない。そこで、国連の定義に倣い、最高速度が時速200km/h以上の路線とした。日本の新幹線の定義（全幹法）にも符合する。余談だが、哲学では、朽ちた素材（木材）を新しく交換して全てが変わったある船は、はたして同じ船なのかと言うパラドックス「テセウスの船」が知られているが、船の「定義」を最初に行えばパラドックスになりにくい。

2点目は「外見より本質」である。日本で内外の高速鉄道の整備延長を比較している事例は少なくないが、外見（結果）を生んだ計画理念が本質なので深掘りした。日本は、「国民経済の発展及び国民生活領域の拡大並びに地域の振興に資する」（全幹法）であるが、例えばフランスでは交通権・連帯（地域間の均衡や地球環境など）、ドイツでは「インフラと移動の可能性（モビリティ）は成長とQOL（Quality of Life）、仕事の基礎をなす」、「モビリティが実現しないと繁栄はない」である。なお、「計画」の位置づけも内外で相違がある。欧州ではある程度予算とセットで完成目標時期も示されているため、対する日本の計画は少なくとも基本計画路線ではなく、整備計画路線とした。

3点目は「空間軸」（分野軸とも）である。鉄道を視野の中心に据えたと、思考が鉄道オリエンテッドになりやすい。例えば、「鉄道」からバス等を含む「公共交通」、「二次交通」へ、「鉄道」から航空等も含む「都市間交通」へ、そして、「鉄道」（線）から「都市」（面）への広がりは、総合的観点での評価に繋がる。欧州における、高速鉄道の効果を発揮するための「二次交通」の重視、地球環境問題



私のインフラ巡礼



～糸魚川ジオパーク～

日本で初めて世界ジオパークに認定されたジオパーク
（JR東日本エネルギー開発 大口 豊さん）

未来構想PFのホームページ
（HP）をご覧ください。

会員はもちろん社会に大きく
開かれた「参加型」HPです。

未来構想PF

検索

で検索してください。

トップページへのリンクは

[こちら](#)



の観点からの中距離帯における鉄道の役割と航空路線の廃止、非商業領域における都市経営の一環としての公共交通の利便性提供などの政策的視点が該当する。余談だが、日本の地方部では「鉄道を支える」との考えも散見されるが、都市と鉄道の一体性の観点からは、支える対象ではなく（鉄道の維持自体が目的ではなく）、都市の将来にも関わる判断（自分ごと）となる。

4点目は、「客観的評価の実践」、または「標準を調整した評価」である。日本の価値観に囚われない評価はなかなか難しいように見える。例えば、日本では、大都市を結ぶ新幹線の路線延長当りの輸送量が多いことを誇る論調も見られる。しかし、輸送量が小さくても国家的見地から整備を進めている欧州には違う評価になるかもしれない。そもそも、鉄道全般について、欧州では運行費の2～8割が公的資金で賄われていることに一般の日本人は驚くが、欧州では公共交通が政府の責任領域にあるため、公園管理や消防などに比べると、8～2割が運賃収入で戻ってくるので、むしろ優良事業と見なされとも聞く。なお、ここでも前提は異なり注意が必要である。上記の公的資金割合の前提には、インフラはいずれも公設公有であることがある。加えて、サービスレベルと連動する運行経費の前提も異なる。欧州のサービスレベルは、地方部も含め総じて利便性が高い。なお、欧州は採算度外視と思われるかもしれないが、都市・国土経営としての収支（定性的な社会経済効果を含む）で考えているといえる。所謂先進国の中では、事業単体の収支に強く着目するのは日本特有と言える。

5点目は、時間軸である。高速鉄道を結ぶ都市の規模が40万人や30万人だとすると、日本では「需要」があるかないかで受け止めがちであるが、上述した都市視点（空間軸）に「時間軸」を加えた、それらの都市（経済、人口など）の数十年後の姿をどうしたいのかといった観点の評価も成立する（ドイツにおけるモビリティの考え方が該当）。

言うまでもなく上記観点は単独ではなく複合的である。そして私たち技術者は「技術」も常に意識する必要がある。例えば、欧州では、高速鉄道専用線の整備だけでなく直通先在来線の高速度化改良も主流である。その外見からは、国内でも在来線を活用して高速鉄道化すれば良いとの考えが導かれる。しかし、「技術」で見ると、欧州では都市間の在来線線形は日本の東海道新幹線並みで、かつPSOを背景に、踏切除却や信号改良といった取り組みが長年進められてきた蓄積

がある。同時に、地域輸送や貨物輸送を傷めないよう、在来線の複々線化やバイパス線建設も行っている。他方、スペインは高速鉄道専用線に特化して盛んに整備を進めている（全県庁所在地を結ぶ計画）。スペインは在来線の線形や配線（単線）等の品質が低いため、直通乗入れ及び高速化改良に膨大な資金と工期が必要となることから、上記判断をしたと言える。

昨今、今後の新幹線整備が話題になってきている。しかし、地方都市では鉄道等公共交通を軸とするコンパクトプラスネットワーク政策が基本的な生き残り策であり、貨物鉄道はトラックのドライバー不足問題や地球環境問題を背景によりこれまで以上に大きな役割が求められるつつある。

日本のこれらの課題に対し、鉄道事業者の視点だけではない鉄道と都市などに関わる総合的な知見と「技術」は益々重要になる。当プラットフォームの役割も一層大きくなっていくと言える。

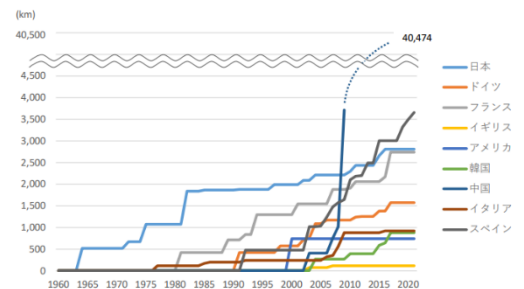
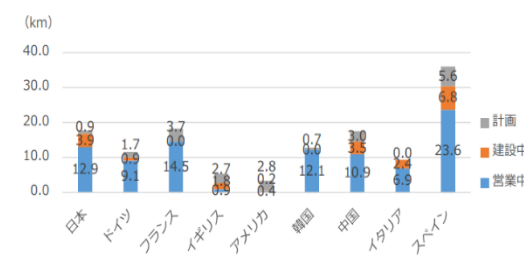


図 3-4 営業中の高速鉄道延長の推移



(参考) 国土係数あたりの高速鉄道整備延長(計画を含む)

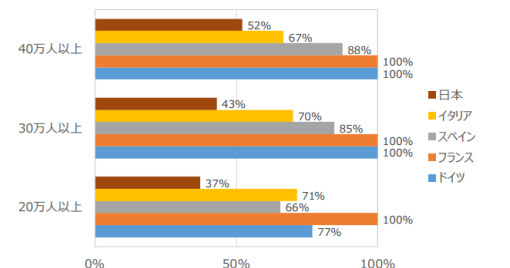


図 3-13 都市人口と高速鉄道ネットワークの状況(在来線直通区間(非高速)含む)

補足 本稿を参考に新幹線WGの報告書をご覧くださいと良いと思います。なお、本稿の図番号は同報告書による。

https://committees.jsce.or.jp/kikaku/system/files/2023ChekUP_Shinkansen-ALL_0.pdf





VOICE

「社内コミュニケーションの場」としての部活動の紹介

J R東日本コンサルタンツ(株) 江岡 年和

私は2006年に入社以来、会社の部活動として野球部に在籍しており、アラフォーを迎えた現在も、「現役」にこだわりながら活動を行っています。また弊社の部活動が、社内コミュニケーションを深める一端を担っていることを紹介させていただきます。

1. 今年は野球が熱かった!!

3月のWBC優勝から始まり、8月慶應高校の夏の甲子園制覇、11月日本シリーズ大阪対決、阪神タイガース38年ぶりの日本一まで、今年は非常に野球が盛り上がった年ではないでしょうか？さらに大谷翔平のドジャースへの移籍（10年7億ドル・・・）もあり、今までの日本野球の常識を覆した年であったと言えます。

弊社野球部においても、5月のGW明けから行われた建設コンサルタント協会関東支部野球大会において2019年以来の優勝を飾り、数ある建設コンサルタント会社の中で優勝回数1位タイ（7回制覇）となった記念の年となります。ここで弊社の建コン協関東支部野球大会へ向けた、春と秋に行っている合宿について紹介させていただきます。



2. 春合宿と秋合宿

弊社野球部では、春と秋に泊まり込みで合宿を行っており、春は新入社員との親睦と、GW明けに開催される建コン協会関東支部大会に向けたゲーム形式の練習を行っております。



秋合宿では、遠投、ロングティ、塁間投、ベースランニングおこない、野球選手として必要な能力を計測しています。毎年の計測値から、自分のどの能力が落ちてきたか半強制的に把握できるため、前年の自分を超越するモチベーションとしています。

2023年野球検定結果

		遠投	ベースランニング	塁間走	送球(塁間)		ロングティ	結果		
					一塁	三星		得点1※	得点2※	合否
50代	記録	29.3m	26'53	5'94	2'08	2'41	68.0m	21.2	12.5	-
	点数	0	0	8	42	9	68			
40代	記録	57.0m	22'26	4'89	2'50	2'05	71.0m	36.7	37.3	-
	点数	44	0	60	0	45	71			
江岡 年和	記録	57.0m	20'22	4'88	2'26	2'16	68.0m	39.3	36.0	-
	点数	44	5	61	24	34	68			
30代	記録	71.0m	18'47	4'51	1'76	1'52	93.0m	76.0	63.7	-
	点数	72	40	79	74	98	93			
30代	記録	49.0m	20'34	4'51	2'11	2'18	75.0m	42.7	37.3	-
	点数	28	3	79	39	32	75			
40代	記録	58.0m	21'83	5'14	1'88	1'81	88.0m	52.2	40.8	-
	点数	46	0	48	62	69	88			
30代	記録	58.0m	17'86	4'24	1'88	1'50	100.0m	76.0	73.5	-
	点数	46	52	96	62	100	100			
20代	記録	75.0m	19'01	4'33	1'56	1'45	89.0m	80.0	65.7	-
	点数	80	29	88	94	100	89			
20代	記録	61.0m	17'40	4'23	1'90	1'90	95.0m	71.0	67.8	合格
	点数	52	62	97	60	60	95			
20代	記録	81.0m	18'24	4'28	1'58	1'94	88.0m	77.5	80.3	-
	点数	92	45	92	92	56	88			
20代	記録	55.0m	19'64	4'88	1'48	1'76	92.0m	64.0	80.3	-
	点数	40	17	61	100	74	92			
20代	記録	73.0m	17'85	4'28	1'81	1'80	89.0m	74.8	72.8	合格
	点数	76	53	92	69	70	89			
平均点	記録	60.4m	19'97.1m	4'67.6m	1'90.0m	1'87.3m	84.7m	49.1	43.0	
	点数	51.7	25.5	71.8	59.8	62.3	84.7			

3. 会社における部活動

毎年の大会時期になると、社内の方から、「今年はどうなの？勝てそう？」、「今年はいいい新人入ってきたか？」というような話をされ、野球部に関する話題が増え、仕事以外でのコミュニケーションが増えるように感じます。特にコロナにより2020年、2021年は大会が行われず、社内で野球部の話題が少なかったため、なおそのように感じます。これから先も会社の部活動を通じて社内のコミュニケーションを図り、会社における部活動の価値向上に努めていきたいと思っています。



たすきリレー

人のご縁と繋がり、そして「じゃこたんぽ」

鉄建建設(株) サステナビリティ推進室兼鉄道統括室 白石 浩三

お遍路で有名な四国八十八箇所霊場52番札所の太山寺が親寺の四国松山で生まれ育ったことから、人のご縁は大切にしています。

私の最初の現場はJR秋田工事区で、日本酒と「きりたんぽ鍋」を堪能しました。因みに学生時代にお付き合いをしていた彼女とは、秋田に異動後、スマホもLINEもない時代ですから悲しくも疎遠となりました。何年か振りに、当時の上司と共に東京に出張した際に、本社の人と一緒に飲もうと、丸の内北口改札前で待っていたところ、全く奇遇にも、知らぬ間に丸の内OLになっていた彼女と再会し、一気に結婚式を迎える運命となっていました。それが今の家内です。いつも騙されたと言っていますが、縁とは奇なりです。

学生時代は、相撲部で活動しましたが、就職後は仕事一筋となり、一旦、相撲の世界からは離れました。しかし、息子が幼稚園に入った頃、近所の神社で秋のちびっこ相撲大会があって出場させたところ、運よく優勝し、おもちゃをもらったことから相撲をやりたいと言い始め、住んでいる近くの相撲クラブを見つけました。会長は、杖をついている元海軍予科練相撲部出身の老齢の方で、指導者が不足していました。そこで、学生相撲の経験をもとに、ボランティアで子供たちを指導していると、奇遇にも学生時代の相撲仲間が東京都相撲連盟の役員になっていました。

2023年11月24日(金) (愛媛新聞)



愛媛、香川、秋田3県の特産品を使った鍋焼きうどんを食べる向井浩三さん(左)ら=24日午前、東京・新橋
最近の新聞記事(右側が筆者)



2013東京国体での審判

折しも、東京国体に向けて都連役員の補充を行っていて、私にも声がかけられました。そこで、(公財)日本相撲連盟の公認審判員の資格を取得し、国体の役員として、大会成功の縁の下で力持ちを務める羽目になりました。社会人になってからは完全に相撲から足を洗っていたので、国民体育大会の役員として、勤務免除で参加することになるとは夢にも思っていませんでした。

その後、会長逝去後、クラブ代表となり、区相撲連盟会長や(公社)練馬区体育協会理事に就任しました。教え子からは3名の大相撲力士が誕生し、昨年五月場所には春日野部屋の栃丸が新十両となり、私の方で音頭を取って、関係者で化粧まわしを贈ったり、練馬区長表敬訪問を行いました。現序二段の玉天翔は是が非でも入門したいと懇願するので、愛媛の同郷の片男波親方(元関脇玉春日関)に頼んで入門許可をもらいました。

【参考(練馬区HP)】

<https://snavi-nerima.jp/supporterrepo/sprepo284>

また、これはとても異色ですが、相撲部後輩には東大初の力士で注目を浴びている三段目須山も誕生しました。相撲部OBは官学民の多方面で活躍していますが、OB会幹事長(別名は集金係)として細やかながら応援しています。

【参考(AERA)】<https://dot.asahi.com/articles/-/40384?page=1>

これらの切っ掛けを作ってくれた息子は高校を卒業後、2年前にアメリカの大学に進学し日本を離れたので、相撲のことはとっくの昔に忘れていますが、親の私は、いつの間にか東京都相撲連盟の理事から



贈った化粧まわし



企画運営した全国少年相撲選手権大会



主宰する相撲クラブ(左端筆者)



常任理事を経て、副理事長となり、北海道から九州まで全国の精鋭を集めた全国少年相撲選手権大会等の企画運営や全日本相撲選手権の大会役員も行うようになりました。

もう一つ、ボランティアがあります。実は私の出身高校（現在は中高一貫の中等教育学校）がこの11月1日に創立50周年を迎えました。10周年ごとに記念式典が開催され、毎回、ピーターフランクさんや相田みつを美術館長等の著名人が記念講演を行っていますが、今回の50周年記念講演は卒業生に初めてやってもらおうという話となり、不肖ながら私が約千人の生徒や教職員の方の前で約1時間の講演をしてきました。長年、母校の関東支部会のお世話をしてきたので、白羽の矢が立ったようです。さらに、愛媛県松山市にゆかりのある人の集まりである会員数約800名を超える松山愛郷会という会（名誉会長：松山市長）の理事の一員となり、松山東、南、北高校の錚々たる支部会長の方々と東西南北交流をさせていただいているのも、ご縁と繋がりのおかげです。

つい最近では、JRで最初の現場だった秋田県の佐竹知事が、生まれ故郷の四国じゃこ天貧乏くさい発言で世の中を騒がせましたが、秋田のきりたんぽも四国のじゃこ天も大好きな私にとっては驚きでした。先日、きりたんぽとじゃこ天の入った鍋焼き讃岐うどんが販売され、早速、県人会の方と一緒に食べに行きましたがとても美味で、「じゃこたんぽ」という造語も登場して大きな相乗効果を生み出しています。



じゃこたんぽうどん

【参考(四国新聞)】

<http://www.shikoku-np.co.jp/udon/news/detail.aspx?id=20231125000160>

小職、現在のところ、JR東日本からの出向の身であり、今だ若輩ですが、各種ボランティア活動を行っている、仕事のそれとは異なる新たなご縁と繋がりが生まれ、それが、新たな仕事や人生の繋がりにも発展します。その核となる家族の縁を失わないように、日々、色々なご縁を大切にしていきたいと思っています。

東京都相撲連盟副理事長・練馬区相撲連盟会長・(公社)練馬区体育協会理事・松山愛郷会理事

【参考(日本相撲連盟HP)】

http://www.nihonsumo-renmei.jp/club/194_nerima.php



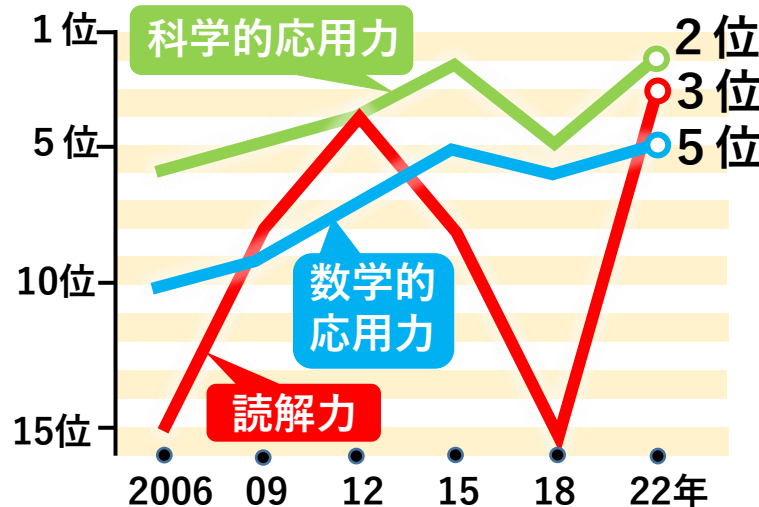
今月の国際比較データ



●「PISA」と呼ばれる国際学力調査

先日発表された「PISA」と呼ばれる世界各国の15歳の子どもの学力を測る国際学力調査結果。日本は課題とされていた「読解力」が大幅に改善し、すべての分野で平均得点や順位が上昇して世界トップレベルとなりました（「読解力」が前回の15位から3位に上昇し、「数学的リテラシー」は6位から5位に、「科学的リテラシー」は5位から2位となりました）。文部科学省は、コロナ禍での休校期間が他国に比べて短かったことや、学校現場の取り組みなどが影響したとみています。この順位をいかに維持できるかが今後の課題です。

順位	数学的リテラシー	読解力	科学的リテラシー
1	シンガポール	シンガポール	シンガポール
2	マカオ	アイルランド	日本
3	台湾	日本	マカオ
4	香港	韓国	台湾
5	日本	台湾	韓国





PF 書店



本の題名をクイックすると、出版社の書籍紹介HPにリンクします！

① 気候崩壊後の人類大移動 (ガイア・ヴィンス 著 河出書房新社)

今後30年で環境難民が10億人に及ぶという驚くべき予測。本書は、この前代未聞の危機の内実をつまびらかにした意欲作。気候変動は深刻な火事、猛暑、干ばつ、洪水を引き起こす。これらの災害は多くの土地を乾燥地に変え、農業に大打撃を与える。熱帯では居住可能性が脅かされ、放棄される土地も増える。逆に寒冷な高緯度地域（アラスカ、シベリア、グリーンランドなど）は、農業や都市建設に適した新天地となり、多くの地球人は生き残りを賭けてその北への大移動を強要される。この人類未曾有の大移動がリアルとならないことを祈るばかりである。

② ビジュアルシンカーの脳

(テンブル・グランディン 著 NHK出版)

自閉スペクトラム症であった著者は、幼い頃、まわりの世界を言葉で理解できず、画像で理解していた。今では言葉を話す、それでも考えるときには主に絵を使い、視覚的なイメージが次から次へと思考しているという。これが「視覚思考」（ビジュアル・シンキング）であり、視覚思考は言葉で考える通常の言語思考と異なり、脳が視覚の回路を使って情報を処理するという思考のプロセスをたどる。人の思考タイプには、視覚思考タイプ、言語思考タイプ、その混合タイプの3つに分かれており、本書には思考タイプ判断テストという簡単なテストが付いている。それによって、自分が気づかない自分の新発見があるかもしれない。

③ パシオン (川越 宗一 著 PHP研究所)

今年の中央公論文芸賞受賞である小説・パシオン。主人公はクリスタン大名小西行長の孫にしてクリスタン時代最後の日本人司祭小西マンショ。小西家再興の重圧と、禁教下で信仰を持つという二つの複雑な背景を背負いながらも、闊達かつタフに生き抜いていくマンショを描くことで、資料的限界で詳しく知られていない彼に、不羈自由な想像力と圧倒的筆力で息を吹き込んでいる。信仰を描きつつ、ひとつの宗教に限定されない普遍的な光を読むわれわれの心に映し出す。



私のインフラ巡礼



「糸魚川ジオパーク」 (新潟県糸魚川市)



フォッサマグナミュージアム 大シアター



親不知海岸の四世代道路（土木遺産）

糸魚川市では、フォッサマグナの西端に位置する「糸魚川・静岡構造線」の断層露頭が有名ですが、この断層をはじめ親不知海岸や小滝川ヒスイ峡、マイコミ平、海谷山塊や焼山など同市内の24のエリアで構成される「糸魚川ジオパーク」が、ユネスコの正式プログラムである世界ジオパークに、2009年に日本で初めて認定されました。見学の拠点となるフォッサマグナミュージアムを中心に、地理や地質・地学、防災などに関心をお持ちの方には見どころ満載の一帯です。（JR東日本エネルギー開発 大口 豊さん）

編集後記

今年は、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、様々な経済活動がコロナ禍以前の状況に戻ってきたと実感できた年になりました。来年の干支は、辰（たつ）年になります。「辰」は十二支唯一の架空の生き物となる龍を意味し、一説には龍が現れるとめでたいことが起こるとされており、縁起のよさを表してるそうです。現在、ウクライナ戦争の激化や中東情勢の緊迫化など世界情勢は混乱しておりますが、来年こそは平和な世界になるよう期待したいと思います。（S.Y）

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。

連絡先：未来構想 PF 事務局 大口

電話：03-4334-8157

メール：info@miraikoso.or.jp

〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28